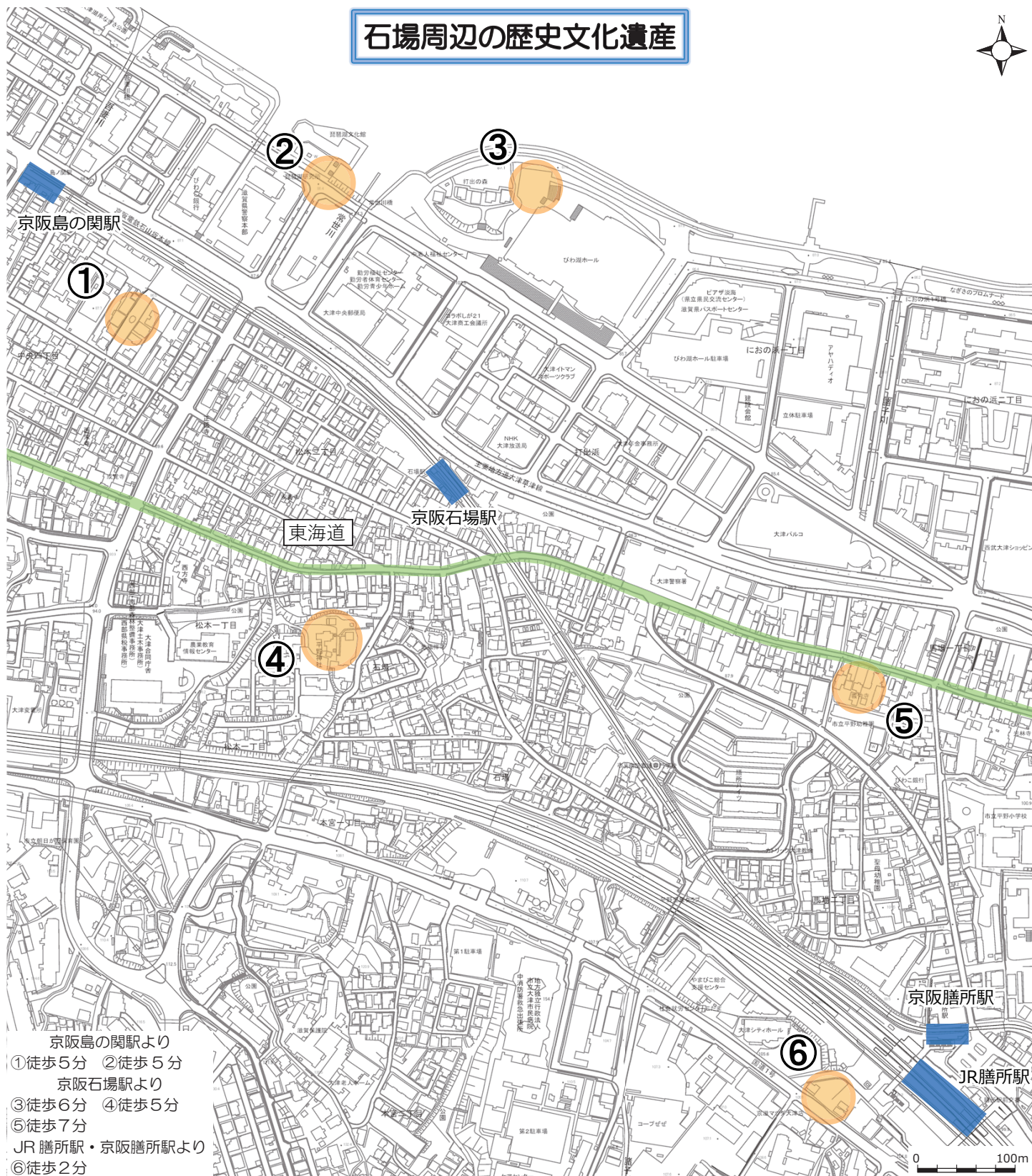


石場周辺の歴史文化遺産



- 京阪島の関駅より
 ①徒歩5分 ②徒歩5分
 京阪石場駅より
 ③徒歩6分 ④徒歩5分
 ⑤徒歩7分
 JR膳所駅・京阪膳所駅より
 ⑥徒歩2分

① 小舟入の常夜灯 (市指定文化財)

大津宿と矢橋を結ぶ湖上交通は、石場が知られているが、大津宿内の小舟入にも渡船場があった。文化5年(1808)に建立された常夜燈が残されており、船着場の旧跡を伝える。

② 明智左馬之助湖水渡りの伝説

明智秀満は山崎の合戦の報を受け、安土城から坂本城へ向かうが、大津で秀吉軍が待ち受けていた。行く手を阻まれた秀満は、湖水を渡って坂本城へ入城し、城に火をかけたと伝える。

③ 石場の常夜灯

元は大津警察署付近にあった。東海道が湖岸に接近する場所が石場で、古くから矢橋への渡船場となっていた。この常夜灯は、港の先端に建てられていたもので、弘化2年(1845)建立。

④ 平野神社

天智天皇の大津宮遷都に際して祀られたことを始まりとする。蹴鞠の神である精大明神を祀り、蹴鞠の神社としても知られる。

⑤ 義仲寺 (国史跡)

粟津ヶ原で敗れた源義仲を祀る。大津をたびたび訪れていた松尾芭蕉は、元禄7年(1694)大阪で亡くなるが、亡骸を木曾塚の横に葬るよう遺言したため、義仲と並んで芭蕉の墓がある。拝観有料。

⑥ 竜ヶ岡俳人墓地 (市史跡)

蕉門十哲のひとり内藤丈草の名を刻んだ墓石を中心に、水田正秀・各務支考・森田祐昌・渡辺雲裡・蝶夢・巴静・北川文素ら芭蕉門下17人の墓が建つ。